

Q. IBD(炎症性腸疾患)の治療をしていますが、インフルエンザの予防接種をしてもよいですか？



A 可能です。

ワクチンを接種することは、インフルエンザを予防するために有効であり、IBDという持病を持っていて、特にステロイド(プレドニン®、ゼンタコート®)、アザチオプリン(アザニン®)、6-MP(ロイケリン®)、インフリキシマブ(レミケード®)やアダリムマブ(ヒュミラ®)、ゴリムマブ(シンポニー®)、ウステキヌマブ(ステララー®)、トファシチニブ(ゼルヤンツ®)、ベドリズマブ(エンタイビオ®)、タクロリムス(プログラフ®)などの免疫を抑える治療を受けている方は、感染を予防するために接種しておくことが望ましいです。ただし、これらの免疫抑制治療中の方ではワクチンの効果が落ちることも考えられます。

他のワクチンについても、IBDではない方と同様に接種することが原則ですが、生ワクチンについては、免疫抑制状態にある場合の接種は通常できませんので、かかりつけの医師に必ず御相談下さい。(2018年12月現在)

